

短期研修に参加して

総合管理学部総合管理学科3年 城 幸子

今回、9月3日から10日まで1週間の韓国・祥明大学での短期研修に参加させていただき、たくさんの事を学ばせていただきました。1週間の研修の中で最も心に残っていることは韓国の人たちの温かさ、そして私がそれまで持っていた韓国という国に対するイメージの大きな変化でした。

この研修に参加したのは、学生のうちに1つでも多くの国に行き、日本とは違う文化を肌で感じることで、自分自身の幅や考え方を広げたいと考えていたことからでした。恥ずかしいことですが、それまでは韓国について深く知らず、日本と似た国という認識しかありませんでした。1週間という短い期間ではありましたが、研修を終えてみると韓国と日本の違いを実感し、韓国独特の文化に深く興味を持つようになりました。それまで、韓国と日本の違いを感じたことはあまりなく、お互い同じようなファッションや音楽の流行があり、同じような感覚を持っているものとばかり思っていました。しかし実際韓国の雰囲気を肌で感じてみると、韓国人と日本人の感覚には違いがあることを感じました。

日本と韓国の違いという点で考えたとき最も意外だったのは、人柄の違いです。消極的で、シャイな日本人に比べ、韓国の人々はとても積極的で活発で、陽気な人柄が印象的でした。見た目は同じであるのに、韓国の人たちはどこか欧米に近いような明るさを持っていて、それがとても魅力的に感じました。



日本からやってきた私たちを明るく受け入れてくれ、学生のみんなどともあつという間に打ち解けることができたのも韓国の人たちの明るい人柄のおかげだと思っています。そ



して何より、韓国の人たちの温かさ、どこまでも優しい心に触れ、感動しました。建前やお世辞など、なかなか本音を言わない日本人と違い、韓国の人たちは素直に私たちに向き合ってくれ、どこか心を洗われるような思いがしました。

今回の研修で、同じ年代の学生たちとともに1週間を過ごす中で、同じ年

代だからこそ話せたことや、共に体験できたことが多くありました。国は違っていても、同じような悩みを持っていたり、共感できる意見があったり、見習うべき姿勢がありました。お互いに刺激しあい、それらは大きな経験として、そして知識の幅として自分た

ち自身の中に残っています。それは、この短期研修に参加したからこそ体験できたもので、旅行や単なるホームステイでは得られなかったものだと感じています。同じ年代の学生たちと交流をさせていただき、貴重な経験をさせていただいたこの短期研修に感謝しています。

また、ホストファミリーは家族みんなで私を歓迎してくれ、私が生活しやすいようにと準備もしてくれていました。最初は言葉も通じない家族とどう接すればよいのか分からず、自分の殻にひきこもりがちでしたが、簡単な韓国語を覚え、単語だけではありま
すが言葉で気持ちを伝えることで、打ち解けることができたように思います。この時、言葉の大切さを身にしみて感じました。やはり韓国人と日本人で、見た目はどんなに似ていても、相手が何を考えているのか、通訳してもらって間接的に話しても心に響かないのだと感じました。自分の口で、相手に気持ちを伝えることで、心の距離がグッと縮まること、そして言葉によって相手と通じ合える喜びを体感しました。外国語を学ぶことの本来の意義はこのようなことなのではないかと実感したように思います。ホストファミリーと過ごした時間はほんのわずかな時間でしたが、心が通じ本当の家族のように接してもらえたことに感謝しています。



この研修に参加して、大切な友達、大切な家族と出会うことが出来ました。それは私の人生の中のかげがえのない財産であり、心の支えです。1週間という短い期間の中で、このような財産を得られたことを本当に嬉しく思っています。これから先も、この交流で出会った人たちとの縁を絶やさずに、互いに刺激し合いながら成長していけたらと思います。